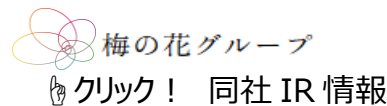


(株) 梅の花グループ

東証 STD : 7604

小売業

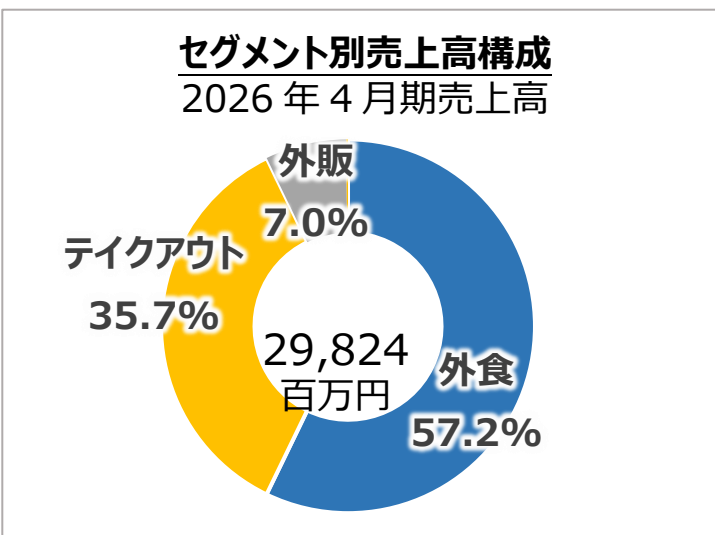
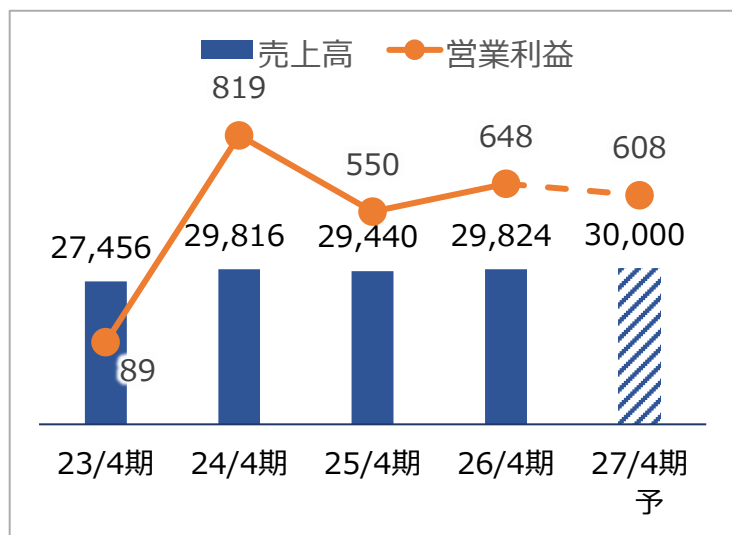
創業 50 年、新たな成長フェーズへ。外食×中食の両輪で復活を目指す梅の花



会社概要	会社名：株式会社梅の花グループ	ホームページ： https://www.umenohana.co.jp/
代表者	代表取締役会長 CEO 本多 裕二 代表取締役社長 COO 鬼塚 崇裕	発行済み株式数 9,029,200 株（普通株式） 2026/4/30 現在
本社	福岡県久留米市天神町 1 4 6	主要株主 梅野久美恵 712,200 株 8.01%
設立	1990 年 1 月（創業：1976 年 7 月）	麒麟麦酒株式会社 201,300 株 2.26%
上場	1999 年 4 月	株式会社梅野企画 182,800 株 2.05%
事業内容	飲食店ならびにテイクアウト店舗の運営	株式会社フジオフードグループ本社 135,500 株 1.52%
		株式会社西日本シティ銀行 96,400 株 1.08%

業績推移（百万円）	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	EPS 円	BPS 円	配当 円	配当性向%	ROE %
'23 年 4 月期	27,456	89	14	-440	▲ 55.0	53.1	5.0	-	-
'24 年 4 月期	29,816	819	739	1,020	117.3	146.9	10.0	8.5%	35.4
'25 年 4 月期	29,440	550	388	▲ 383	▲ 43.6	114.5	10.0	-	-
'26 年 4 月期	29,824	648	369	253	28.5	144.5	10.0	37.4%	12.9
'27 年 4 月期(予)	30,000	608	326	279	31.5		10.0	31.8%	

株価データ	2026/9/17
終値	914 円
予想 PER	29.05 倍
PBR	6.32 倍
配当利回り	1.09%
時価総額	82.5 億円
上場来高値	2002 年 753,000 円
上場来安値	2020 年 611 円



＜会社概要＞ 1976年福岡県久留米市において、かに料理店「かにしげ」を創業（1990年現 株式会社梅の花設立、）。創業50年を迎えた湯葉・豆腐料理を中心とした和食業態「湯葉と豆腐の店 梅の花」を主力ブランドに、外食、テイクアウト、外販の3事業を展開する企業グループ。百貨店や商業施設向けのテイクアウト事業、加工食品を扱う外販事業を組み合わせた事業構造が特徴。M&Aを通じたブランド拡充と店舗網の再構築を進め、居酒屋業態「さくら水産」などを含む約20ブランド、全国200店舗超の店舗網を有する。外食事業を起点に複数事業での収益機会創出を進めており、2026年4月期の連結売上高構成比は外食事業57%、テイクアウト事業35%、外販事業7%。外食・中食・加工食品を横断する事業展開を行う点が、同社の事業ポートフォリオを特徴づけている。また、2025年から取り組んでいるサプライチェーン改革「スマートCKプロジェクト」では年間で6万時間の業務削減と1億円を超えるキャッシュフローの改善を実現。今後も改革の手を緩めず更なる最適化に取り組んでいる。

＜2027年4月期1Q決算を発表＞ 売上高は70億円（前年同期比△0.3%）とほぼ横ばいながら、営業利益83百万円（前年同期は17百万円の営業損失）となり、黒字転換を果たした（中間期予想△29百万円、通期予想608百万円）。収益性の改善や製造工程効率化の取り組みの効果により包装資材費の増加等を吸収。順調なスタートとなった。

＜2029年4月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画を公表＞ 外食と中食（テイクアウト）の両輪を活かした成長戦略を掲げる。コロナ禍で大きな影響を受けた外食事業からの回復を背景に、収益基盤の立て直しから成長フェーズへの移行を鮮明にした格好だ。ポイントは、①インバウンド需要の取り込み、②カジュアル業態強化による顧客層拡大、③出店戦略の見直しである。訪日客増加を背景に外食のインバウンド売上は年率120%成長を目標とし、地方店舗の収益力向上も図る。また、従来の高価格帯中心から、30～40代を含む幅広い層を取り込むため、定食業態などカジュアル店舗の出店も推進。国内で約12店舗の純増、海外でも東南アジアを中心に店舗拡大を計画しており、成長余地の開拓を図る。財務面では営業CF39億円を原資に成長投資と負債削減、株主還元をバランスさせる方針。DX投資やアプリ・CRM活用による顧客管理強化も打ち出し、効率化と売上拡大の両立を目指す。「健康志向の和食ブランド」「多業態」「中食強化」という強みを武器に持続的成長を狙う計画。インバウンド戦略の中心になる「熊本あか牛しゃぶしゃぶ甲梅」は2027年1Qにおいて外国人客数が来店客の約45%を占めるなど順調。インバウンド需要の取り込み状況とカジュアル戦略業態の進捗が株価の評価ポイントとなると考えられる。株主還元にも積極的。保有株数等に応じ利用代金が5～20%割引となる株主御優待証と優待券を発行する株主優待を実施している（詳細は右の「新株主優待制度導入のご案内」をクリック）。

【熊本あか牛しゃぶしゃぶ 甲梅】
上質な赤身の旨味と豊かな風味が味わえる熊本の阿蘇あか牛を「しゃぶしゃぶ」と「すき焼き」でご堪能下さい。落ち着いた空間とおもてなしで特別な時間をお過ごしいただけます。



新株主優待制度
導入のご案内